

町内にはさまざまなコミュニティがあり、独自の活動をしています。そんな皆さんの活動やイベントをご紹介しますコーナーがステイ・スマイル(笑顔のままで)です。

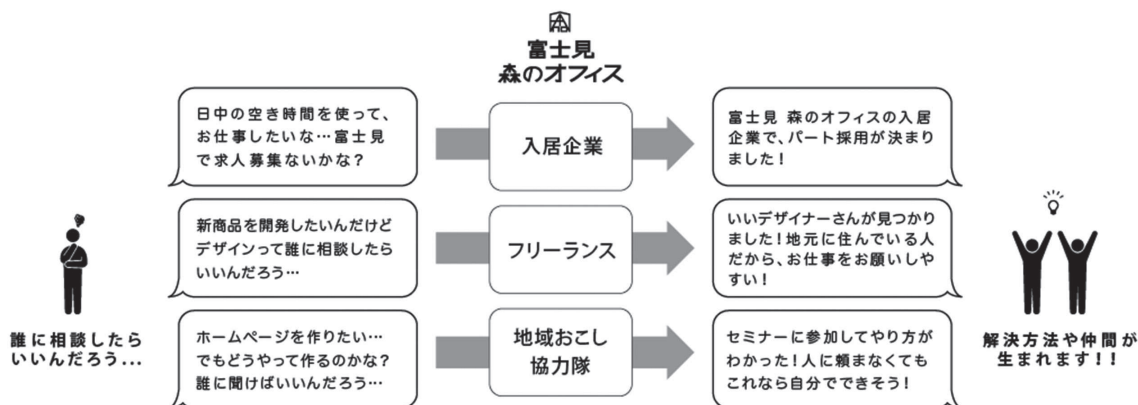
Stay Smile こんにちは。『地域おこし協力隊』です！

森のオフィスの新しい取り組み「シゴトお悩み無料相談」始めました。

「富士見森のオフィス」は、いろいろなスキルをお持ちの企業、フリーランス、プロフェッショナルが日々お仕事をする場所としてご利用されています。今まで、誰かに相談したくてもできなかったようなスマートフォンやパソコンの使い方からお仕事の悩みまで、私たち地域おこし協力隊に是非お気軽にご相談ください！
※ご相談内容によっては、その場で解決できない場合もございます。ご了承ください。
※相談は無料です。



みなさんのお仕事のお悩み、
森のオフィスに相談してみませんか？



- ご相談受付時間 毎週 火、木、土の13:00~15:00
- お問い合わせ 〒399-0211 長野県諏訪郡富士見町富士見3785-3 楽山荘
メール morino-office-info@routedesigning.com ☎78-8009

Stay Smile 本と遊び、本に学ぶ 富士見町子ども読書活動推進委員会 事務局 ☎62-7930

富士見町子ども読書活動推進計画(第2次)

富士見中学校 読書活動紹介

富士見中学校では、毎朝8:20~8:30の10分間、朝読書の時間があります。その中で、水曜日は「読み語りの時間」です。本校では読み聞かせを「読み語り」といいます。

読み語りの時間には地域のボランティアの方にお越しいただき、クラスごとに様々な本を紹介していただきます。絵本、小説の一遍、エッセイ、落語、新聞の記事、ボランティアさんの体験記、ブックトークなど、内容は様々です。かつて読んだことがある本でも、読んでいただくことによって、より心に響いてきます。また、普段手に取らない本に触れ、生徒の興味の幅を広げる機会となっています。ボランティアの皆さんの生徒の成長や行事に合わせた選書や個性あふれる表現に、生徒も職員も毎週引き込まれています。

他にも、図書委員会が中心となって、貸出冊数を増やすための企画や、生徒同士でお勧めの本を紹介し合う企画などを行っています。

勉強や部活動、生徒会など、忙しい中学校生活の中でも、一人になってじっくり言葉を味わう時間を確保し、様々なジャンルの本を手にとって、自分の世界を広げていってほしいと思っています。

読み語りボランティアは随時募集中です。お気軽に学校へお問い合わせください。



▲ボランティアの方による読み語り



▲ボランティアの人数が不足する場合には職員が読み語りをします。

◆松木 裕さん (富士見)

私は富士見にきて4年目になります。今まで農業法人(有)トップリバーの社員として、レタス類の生産を中心に5年間研修してきました。平成29年からレタス農家として独立します。

私は飯山市の出身で、学生時代は野球一色の生活でした。その後、将来を定められないまま大学院にまで進学し、漫然と日々を過ごしていました。そんな中、飯山市のアルバイト先で、衰退しつつある自身の故郷を悲観せず、地元の特徴を生かして、地域のために楽しみながら働いている先輩の姿を見て、自分も長野県で過ごすのが楽しいと感じられる仕事をしたいと感じ、農業という選択にたどり着きました。

研修中は、研修生といえども営利企業に属する社員として、高いノルマに追われる厳しい毎日でした。しかし、生産技術を学ぶだけでなく、一定規模の農場運営を任されることで、独立後に近い感覚での経営を経験しました。また営業社員を通じて様々な販売先と関わり、最終消費者まで意識した生産に励む大切さを痛感しました。そして同僚、パートさん、温かく声をかけてくださった地域の方々など、多くの人たちの支えとご理解によって、充実した研修生活を送ることができました。

独立後は、富士見町をレタスの新規産地として確立することが目標です。そして、段階を踏みながら規模を拡大して、雇用を生み、富士見町の地域発展に貢献していきたいと考えております。一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



Stay Smile 子育てはたくさんの笑顔とたくさんの手で ~子どもの場所から~

NPO法人ふじみ子育てネットワーク ☎62-5505

手と手をつなぐように

子育てひろばAiAiのお茶コーナーにあるティッシュボックスに可愛いカバーがかけられました。その周りのクリスマスディスプレイの一つに木の実のキャンドルがあります。このティッシュカバーと木の実のキャンドルは、小学生が作ったもので、とととと広場の子ども商店街で購入しました。子ども商店街には他に手作りの入浴剤や石鹸も並んでいました。またかわいく手作りされた的当て屋さんやおもちゃ釣りのお店もありました。

11月19日(土)、第8回目のとととと広場を開催しました。子どもや子育て家庭を中心とした地域交流が目的のイベントです。今年も子どもの店、大人の店が30ブースほど集まり、乳幼児から小中高生、大人が互いに交流しながら楽しく過ごしました。出店した小学生の中には、売上金を友達との学校生活の思い出作りに使うという子もいて、買ってもらうために一生懸命商品をアピールしていました。前述のティッシュカバーや木の実のキャンドルはこのお店で購入しました。思い出作りに協力したいなという気持ちもありましたが、小学生がひとつひとつ思いを込めて作ったものが、生まれてまだ間もない乳幼児が過ごす子育て広場で役に立っている、というのが素敵だなと考えたからです。とととと広場という名称には手と手をつないで地域をつくっていきこう、という思いが込められています。そこに集まった子どもも大人もそれぞれが地域に役立つものを提供し、それで得た収入で自分たちの暮らしを心豊かにする、地域や社会は一人ひとりがつながり輪になっていて、支えあって作られているということを伝えられると嬉しいです。



▲ティッシュカバーと木の実のキャンドル



▲手作り石鹸



▲高校生が定員さん「ポップコーンブース」



▲中学生が定員さん「おねんどさんブース」